

補助金評価シート

区分	重点・重点以外	補助根拠	法令補助・その他補助	開始時期	令和5年7月1日	終期	令和8年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	新潟市がん患者アピアランスサポート事業 がん治療によるアピアランス（外見）の変化を補完するウィッグ、胸部補整具、人工乳房の購入費用を助成することで、がん患者のクオリティ・オブ・ライフ（生活の質）の向上を図り、治療と社会参加等の両立を支援するもの。						
款・項・目	衛生費 保健衛生費 保健予防費						
課内メモ 事業費全体の金額ではなく、補助金予算・決算を表示している。	保健衛生部 保健所健康増進課		がん検診推進担当		電話 025-212-8162		
年度	令和5年度（1年目）		令和6年度（2年目）		令和7年度（3年目）		
予算額等の推移	予算(千円)	9,000	9,550	9,638			
	決算(千円)	8,984	8,730	9,638			
補助率	購入費の2分の1 ウィッグ等、胸部補整具は上限25,000円、人工乳房は上限50,000円		購入費の2分の1 ウィッグ等、胸部補整具は上限25,000円、人工乳房は上限50,000円		購入費の2分の1 ウィッグ等、胸部補整具は上限25,000円、人工乳房は上限50,000円		
目標	ウィッグ、胸部補整具、人工乳房の購入費用を助成することにより、クオリティ・オブ・ライフの向上、治療と社会参加等の両立を支援する。 <目標が数値でない場合の評価方法> 患者団体、医療機関など関係機関からの意見等聴取						
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上						
	達成率 80%以上						
	達成率 50%以上						
	達成率 50%未満						
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	<R5目標> 患者団体、医療機関など関係機関からの意見等聴取 がん診療連携拠点病院におけるアピアランスに関する相談事例について聴取。 患者団体から、新たな助成制度ができたことは、がん患者にとって心強い、など好意的な意見がある。 申請件数：376件	<R6目標> 患者団体、医療機関など関係機関からの意見等聴取 がん診療連携拠点病院では、がんの外来患者が、がん相談支援センターにつながる体制となっており、治療により収入が減少し経済的に厳しいので助成はとても助かる、患者を支援してくれていることが感じられ嬉しくありがたい、など好意的な意見がある。 申請件数：365件	<R7目標> 患者団体、医療機関など関係機関からの意見等聴取 がん診療連携拠点病院のがん相談支援センターからアピアランスに関して聴取。助成制度について好意的な意見がある。 その他、がん征圧新潟県大会において、市と患者団体の取組を紹介する。 申請件数：390件			
補助事業者による情報の公表	補助事業者が個人であるため、情報の公開は行いません。						

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
		b. 補助率は1/2以内か	○	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	×
		c. 補助額が5万円以上になっているか	×	g. 目標は数値化されているか	×
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
	×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> c. ウィッグ、胸部補整具購入費の2分の1、上限25,000円 f. 補助事業者が個人であるため、情報の公表は行いません。 <g～hにおける取組> g. 患者団体及び医療機関などの関係機関からの意見等聴取			
目標未達成の原因分析	<期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>				
① 拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） ② 継続 ③ 廃止					
①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 患者団体及び医療機関などの関係機関からの意見では、アピアランスサポート事業に関しては好意的な意見であり、本事業を通じてがん患者のクオリティ・オブ・ライフの向上に貢献しているものと評価できる。 今後も本事業を継続し、がん患者の治療と社会参加等の両立を支援していく。					